

1958年 (昭和33年)

前年の半ばから崩れた景気は当年6月に底に達し、引き締め緩和とともに以降V字型に上昇した。

本会の主要業務活動等

- 3月 機械装置の耐用年数の短縮を要望（現行19年を12年に）～モデルプラント作業に着手し、翌年にかけて作業継続
- 5月 本会の会則改正（会長の選出方法および理事の補充選任方法等）
- 6月 関門トンネル等での生ゴムの裸輸送の禁止措置に反対の陳情
 - 〃 IRSG第14回総会（ハンブルグ）に参加者を派遣
- 8月 輸入ゴム類についての計量法（メートル法）の適用除外を陳情～63年末まで5年間の適用除外決定
- 11月 ゴム揮の免税措置継続の陳情～59年3月から向こう4年間の延長が決定
- 12月 日本ゴム輸入協会と連名で、東西ゴム取引所に対しシート1号品の上場を要請

ゴム産業関連事項

- 1月 ゴム履物業界自主操短決定
- 3月 ゴム製品検査協会が輸出検査法による検査機関に指定
 - 〃 日本糸ゴム工業調整組合設立
- 4月 合成ゴム製造事業特別措置法の一部改正法公布
 - 〃 米下院、日本製ゴム靴の輸入税3倍引き上げ可決
 - 〃 日本自転車タイヤ工業調整組合、法改正により日本自転車タイヤ工業組合に改組
- 9月 自動車タイヤ業界、自主操短続行
 - 〃 全国ゴム履物産業労働組合協議会結成

政治・経済・社会情勢

- 1月 EEC（欧州経済共同市場）発足
 - 〃 インドネシアとの平和条約・賠償協定調印
 - 〃 米、人工衛星「エクスプローラ1号」を打ち上げ
 - 3月 関門国道トンネルが開通（全長3,461メートル）
 - 〃 フルシチョフ、ソ連首相に就任
 - 6月 日銀、戦後初めて公定歩合を引き下げ
 - 〃 第2次岸内閣成立
 - 7月 JETRO（日本貿易振興会）発足
 - 12月 日銀、1万円札を発行
 - 〃 ドゴール、仏大統領に当選

参考データ	公定歩合の動き	GDP (名目/暦年)	四輪車生産台数	新ゴム消費量
6月	2銭3厘→2銭1厘 (戦後初の引き下げ)	11兆5,380億円 実質成長率：7.3%	188千台 前年比：3.3%	135千トン 前年比：-1.2%
9月	2銭1厘→2銭			